

EL350 シリーズ 板状電極



EL350



EL350S



EL351

板状電極は、人の被験者で神経伝導、体性感覚、または筋収縮の記録中に刺激を加える、もしくは信号を記録する際に推奨されています。全ての板状電極は鉄を含んでおらず、防水アクリル板に 30mm 間隔で配置された 2 つのスズ電極で構成されます。リード線のコネクタは、標準の 1.5mm タッチプルーフコネクタです。板状で、電極間の間隔が固定されている事で、電極の取り付け条件を均一にできます。

EL350 STMISO シリーズと使用する凹型の板状非シールド電極

EL350S 生体電位記録用凹型の板状シールド電極

EL351 刺激用凸型の板状電極



記録または刺激に関しては MP160/MP150 システムと使用する場合：

- どの 100C シリーズ生体電位アンプ、STMISOLA 刺激モジュール、もしくは STMISOC/D/E モジュールとも直接接続します。
- CBL201 を使用して 2mm ピンへ変換することで、100A/100B シリーズアンプまたは STMISOA/B に接続できます。

MP36 または MP36R と使用する場合：

- 記録用：SS1LA を介して接続します。
- 刺激用：CBL207 を使用して BNC コネクタへ変換し、STM200 または BSLSTMB 刺激装置と接続します。



信号記録のために板状電極を使用する際は、接地リード線（LEAD110 と EL503, CBL229）が必要となります。

どの種類の電極においても取付け部位には以下のことに注意が必要です：

- 1) 電極部位は乾燥しており、過剰な毛がないようにしてください。
- 2) 電極は瘢痕組織や紅斑が確立した部分、もしくはいかなる種類の病変がある部分の上にも取付けないでください。
- 3) 皮膚は適切に処理してください。(電極を取付ける部位の皮膚処理を行います。皮膚表面を軽く研磨するために ELPAD をご使用ください。取付け部位を処理するために素早く乾燥研磨を行ってください。皮膚表面の過度な研磨は避けてください。)

EL350 シリーズの共通仕様

電極の間隔： 30mm
リード線長： 60cm
コネクタタイプ： 1.5mm タッチプルーフ